

就労支援サービス

問題 143 雇用・就労に関連する用語の説明として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ディーセント・ワークとは、働きがいのある人間らしい仕事のことをいう。
- 2 ニートとは、就労に向けて職業準備中の若年者のことをいう。
- 3 ホワイトカラー・エグゼンプションとは、事務職の労働時間の厳格な制限のことをいう。
- 4 ワーク・ライフ・バランスとは、定年退職後に安定的な生活を図ることをいう。
- 5 ワーキングプアとは、就労できないために貧困状態になることをいう。

問題 144 福祉事務所の就労支援員の役割に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 期限を決めて就職活動を義務づける。
- 2 健康管理について指導する。
- 3 面接の受け方について支援する。
- 4 職業紹介をする。
- 5 ボランティア活動への参加を義務づける。

問題 145 障害者就業・生活支援センターに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 公共職業安定所(ハローワーク)に代わり、職業紹介業務を行っている。
- 2 就業支援を担当する者と生活支援を担当する者が配置されている。
- 3 「障害者総合支援法」に基づき設置されている。
- 4 2015年(平成27年)5月現在、全国で21か所設置されている。
- 5 在職中の障害者は、支援対象とならない。

(注) 「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

問題 146 事例を読んで、B相談支援員(社会福祉士)の対応として、次のうち最も適切なものを1つ選びなさい。

[事例]

Cさん(32歳、男性)は両親と同居している。大学卒業後直ぐに就職したが半年で離職し、その後、身の回りのことは自分でこなすが、積極的な就職活動などをすることなく自宅にとどまり、家族以外とは交流を持たない状態が10年近く続いている。今回、親に促されて、生活困窮者自立相談支援事業を実施するR市役所の相談窓口を訪れた。Cさんは「就職したいという焦りと、失敗するのではという不安がある」とB相談支援員に話している。

- 1 医療機関の受診を勧める。
- 2 求人情報誌の利用による求職を勧める。
- 3 障害者就業・生活支援センターの利用を勧める。
- 4 福祉事務所の相談窓口を勧める。
- 5 地域若者サポートステーションの利用を勧める。